



2025 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 信 越 ポ リ マ ー 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 社 長 執 行 役 員 出 戸 利 明
(コード番号 7970 東証プライム)
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 管 理 本 部 経 営 企 画 部 長 兼 経 理 部 長 小 和 田 収
(TEL : 03-5288-8404)

中期経営計画更新に関するお知らせ

当社グループは、この度、2029 年度（2030 年 3 月期）を最終年度とする中期経営計画「Shin-Etsu Polymer Global & Growth 2029」を更新・策定いたしました。

2023 年 5 月に中期経営計画 「Shin-Etsu Polymer Global & Growth 2027」 を公表し、成長事業・基盤事業ごとに重点領域を定め、成長事業の拡大に向け積極投資を進めるとともに、方針に沿った株主還元を着実に進めてまいりました。一方で、半導体市場の在庫過多の影響等により、事業収益の拡大時期については当初想定との差異が生じる結果となりました。

このような事業環境を勘案し、現行の中期経営計画について再検討を行い、同中期経営計画を更新し、改めて長期の業績目標を示すと共に、全てのステークホルダーとのより強固な信頼関係を構築すべく最新の事業方針・投資計画・還元方針等を更新することといたしました。

当社の経営理念である「技術と製品を通じて社会と産業の発展に貢献し、社会とともに成長し続ける」ことを変わらず目指してまいります。

	前期実績 2025 年 3 月期	当期通期予想 2026 年 3 月期	更新後中計目標 2030 年 3 月期
売上高（百万円）	110,582	113,500	150,000
経常利益（百万円）	13,218	14,000	20,000
ROE	8.0%	-	約 10%
配当性向	44.4%	50.8%	50%～
前提為替レート	1USD = ¥151.6 1EUR = ¥164.0	1USD = ¥140 1EUR = ¥165	1USD = ¥140 1EUR = ¥165

（注）上記の業績目標等は本資料発表日現在における情報に基づき作成しており、達成を約束するものではありません。実際の業績は、様々な要因により異なる場合がございます。

以 上



信越ポリマー株式会社

証券コード：7970

信越ポリマー株式会社

中期経営計画 更新 “SEP G&G 2029”

“Shin-Etsu Polymer Global & Growth 2029”

2025年11月7日

信越ポリマーの目指す姿

事業活動

アウトプット（製品・サービス）

ありたい姿



技術と製品を通じて
社会と産業の
発展に貢献

環境に配慮し
社会とともに
成長し続ける企業

中期経営計画 更新
「Shin-Etsu Polymer Global & Growth 2029」

- 1. 振り返り**
- 2. 中期経営計画 更新 概要**
- 3. 事業戦略**
- 4. 財務・非財務戦略**

1. 振り返り



中期経営計画（更新前） 過去2年の業績振り返り

中期経営計画（更新前 FY2023～FY2027）の財務目標値と実績は以下の通り。

(単位：百万円)	2023年3月期 (FY2022)	2024年3月期 (FY2023)		2025年3月期 (FY2024)	2028年3月期 (FY2027)
	実績	更新前中計 当初計画値	実績	実績	更新前中計 当初目標値
売上高	108,278	111,000	104,379	110,582	150,000
経常利益	12,986	13,000	11,530	13,218	20,000
ROE (%)	8.6 %	—	8.0 %	8.0 %	10 %強
配当性向 (%)	36.0 %	40 %	42.9 %	44.4 %	～50 %

事業セグメント別 過去2年間の進捗状況

電子デバイス 事業

- 2024年3月期は世界的な自動車生産の増加で車載入力デバイスの出荷が増大したが、2025年3月期は欧米自動車メーカー販売不振の影響を受け停滞
- ワイパーやLEDライトガイドなど車載シリコン成形品で受注が拡大
- EVバッテリー用延焼防止クッションの量産設備を導入し、2025年4月より本格量産を開始

精密成形品 事業

- 2024年3月期は半導体関連製品の需要回復の遅れによる影響を受けたが、2025年3月期は海外向けの需要を取り込み出荷が回復
- プリンター市場の需要回復により、プリンター用ローラの出荷が拡大
- 出荷容器（FOSB）の需要拡大を見越し糸魚川工場及び東京工場の拡張を進め、海外の高水準な需要に対応

住環境・ 生活資材 事業

- キッチニスタ社のカラーラップ製品の販売が伸長
- 事業合理化の推進により収益性を改善
 - 塩ビ管事業を2023年に積水化学工業グループに事業譲渡
 - キッチニスタ社を吸収合併し、グループ全体の合理化を推進

設備投資・戦略投資 過去 2 年間の進捗状況

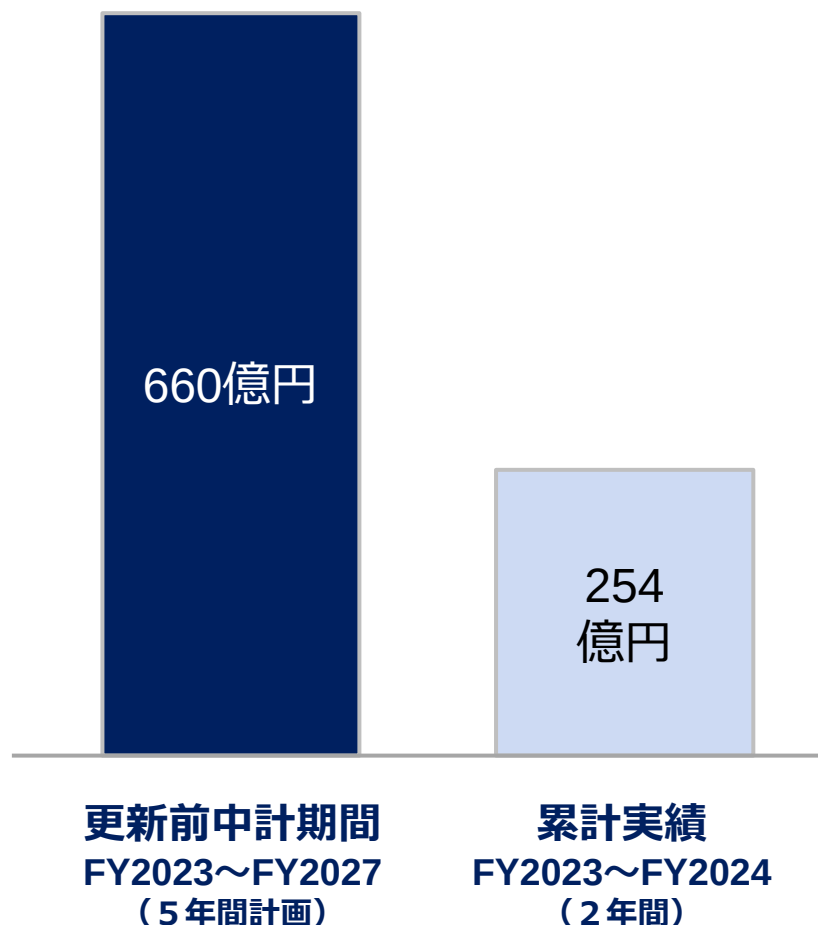
設備投資・戦略投資 過去 2 年間の進捗状況

【実施した主要な設備投資】

年度	投資概要	セグメント
FY2023	・ 糸魚川工場 拡張： ウエハーケース（FOSB）の増能力	精密成形品
FY2023	・ 児玉工場 量産設備導入： 延焼防止クッションの生産設備	電子デバイス
FY2024	・ 東京工場 新棟建設： ウエハーケース（FOSB）の増能力	精密成形品
FY2024	・ 東京工場 検証設備導入： 耐熱薄膜フィルムの量産性検証	住環境・ 生活資材

【その他の戦略投資】

- ・ M&Aは継続的に案件検討しているが、実績はなし。



過去2年間 事業施策の進捗状況

過去2年間 事業施策の進捗状況について

成果

課題・改善方針

事業側面	- 海外半導体需要の取り込み、EVバッテリー用延焼防止クッションの実績化、その他独自製品の拡販により2025年3月期に過去最高業績を達成 - 事業効率化の推進（塩ビ管事業を譲渡等）	- 海外売上比率のさらなる拡大 - 半導体・バッテリー周辺新規部材の引き合いを確保
成長投資・M&A	- 半導体市場等を中心に設備投資を実行し、生産能力を拡張 - 糸魚川工場の生産棟を拡張 - 東京工場に新棟を建設	- 戦略的なM&A案件の発掘・実行 - 自社の知見を活かせる案件にフォーカスし、案件の探索を継続
資本効率・株主還元	- 中計方針に則り、配当性向の引上げを実施 2023年3月期：36.0% → 2025年3月期：44.4%	- ROEの改善 - 株主還元の一層の充実

2. 中期経営計画 更新 概要



中期経営計画 更新 概要

- ・ 中期経営計画（更新前）の経営方針を維持・継続
- ・ 株主還元の一層の強化と、成長領域の需要拡大に備えた積極投資を継続

【事業戦略】

- ・ 成長領域における新規用途の獲得と積極的な投資
- ・ 基盤領域における独自製品の拡販と生産性の向上
- ・ 海外売上比率の拡大

【財務・非財務戦略】

- ・ 成長領域における重点的な投資の実行を継続
- ・ 株主還元の強化し、安定的な高配当を継続
- ・ ESGへの取組みを強化

【2030年3月期 業績等方針】

売上 1,500億円

経常利益 200億円※

ROE 約10%

配当性向 50%～

※1: 経常利益と営業利益は同水準を想定

中期経営計画（更新） 業績目標

(単位：百万円)	前年度実績	当期見込	中期経営計画 更新目標
	2025年3月期 (FY2024)	2026年3月期 (FY2025)	2030年3月期 (FY2029)
売上高	110,582	113,500	150,000
経常利益※1	13,218	14,000	20,000
ROE (%)	8.0 %	—	約10 %
配当性向 (%)	44.4 %	50.8 %	50%～

前提

為替レート※2	USD/JPY	151.6 円	140 円	140 円
	EUR/JPY	164.0 円	165 円	165 円

※1: 経常利益と営業利益は同水準を想定

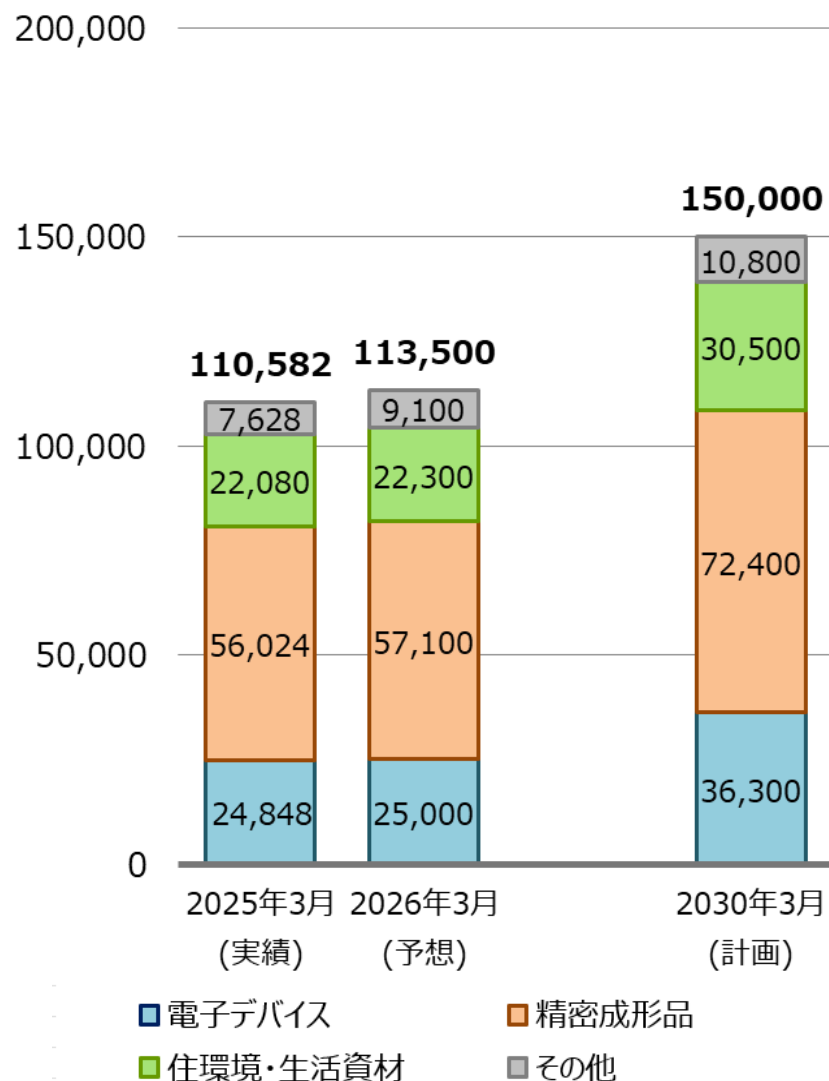
※2: 実績の為替レートの平均は、海外子会社の損益を連結するときに使用

3. 事業戦略

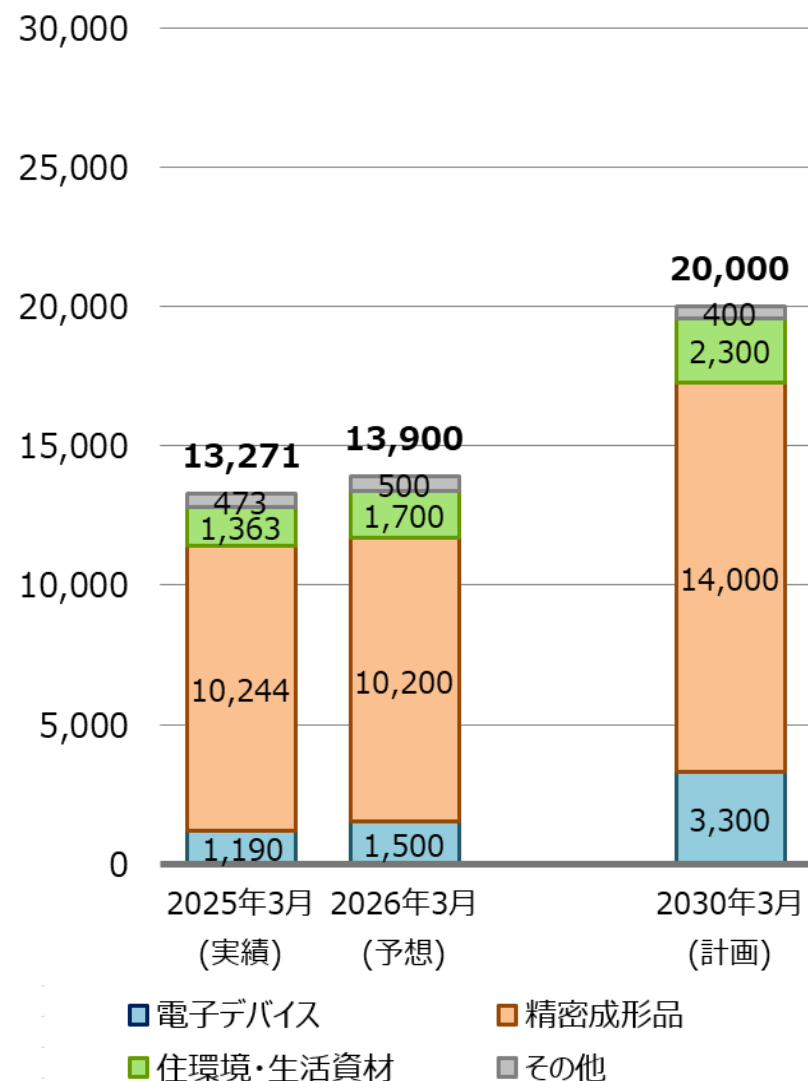


セグメント別業績目標

売上（百万円）



営業利益（百万円）



事業ポートフォリオ全体の成長戦略

製品

事業成長・利益拡大に向けた注力領域

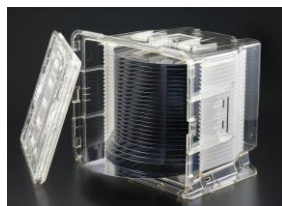
電子デバイス 事業



【基盤領域】車載成形品（入力デバイス 等）

【成長領域】バッテリー・燃料電池関連製品

精密成形品 事業



【基盤領域】OAローラ

【成長領域】半導体関連製品、医療関連製品

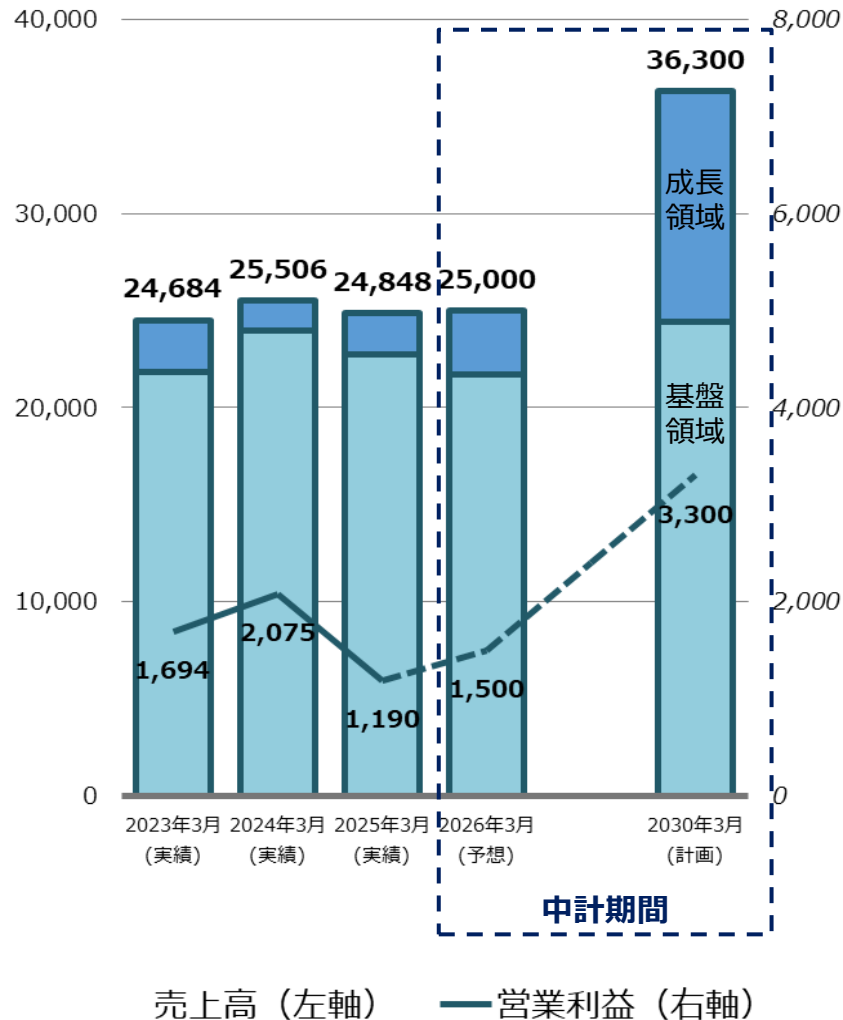
住環境・ 生活資材 事業



【基盤領域】包装材料、コンパウンド

【成長領域】耐熱薄膜フィルム、導電性ポリマー

売上・営業利益（百万円）



事業戦略・重点施策

【基盤領域】

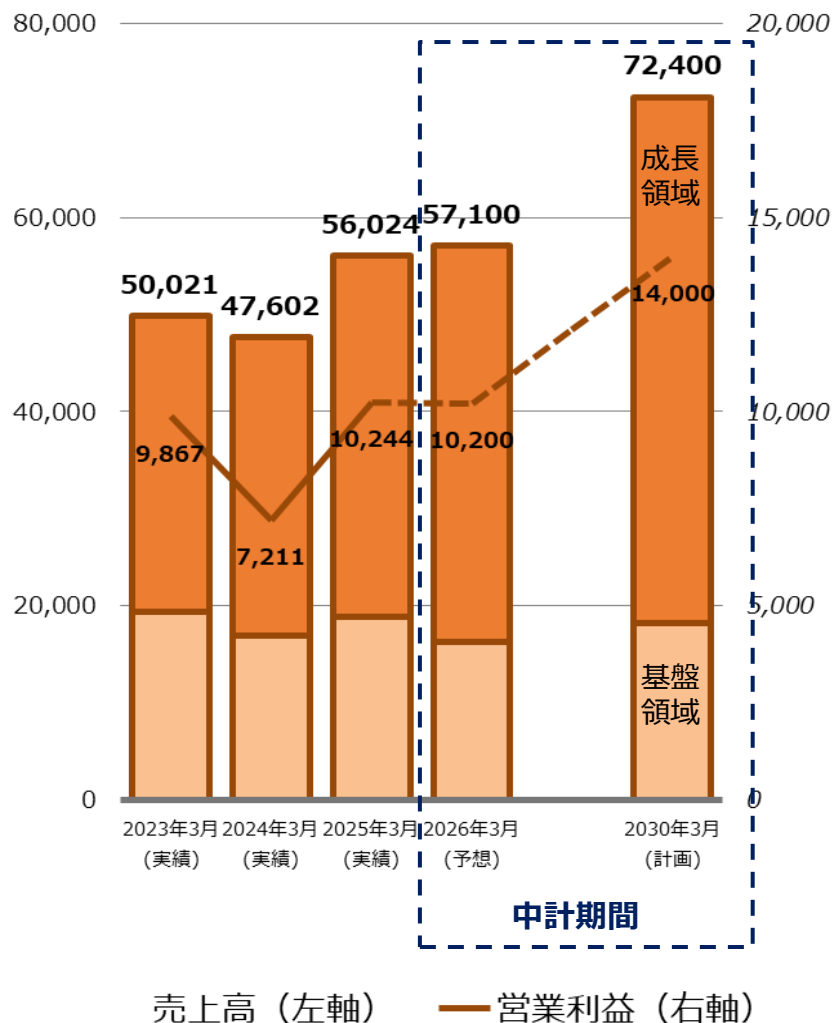
- キースイッチ、ワイパー、パッキンなど車載製品を中心に、幅広い販売チャネルを活用することで市場シェアを維持・拡大

【成長領域】

- Liバッテリーや燃料電池など次世代自動車周辺部材の新たな需要を取り込む



売上・営業利益（百万円）



事業戦略・重点施策

【基盤領域】

- OA機器用部品は、シリコンの配合など他社と差別化できる独自技術を活かし、市場シェアの拡大により収益を拡大

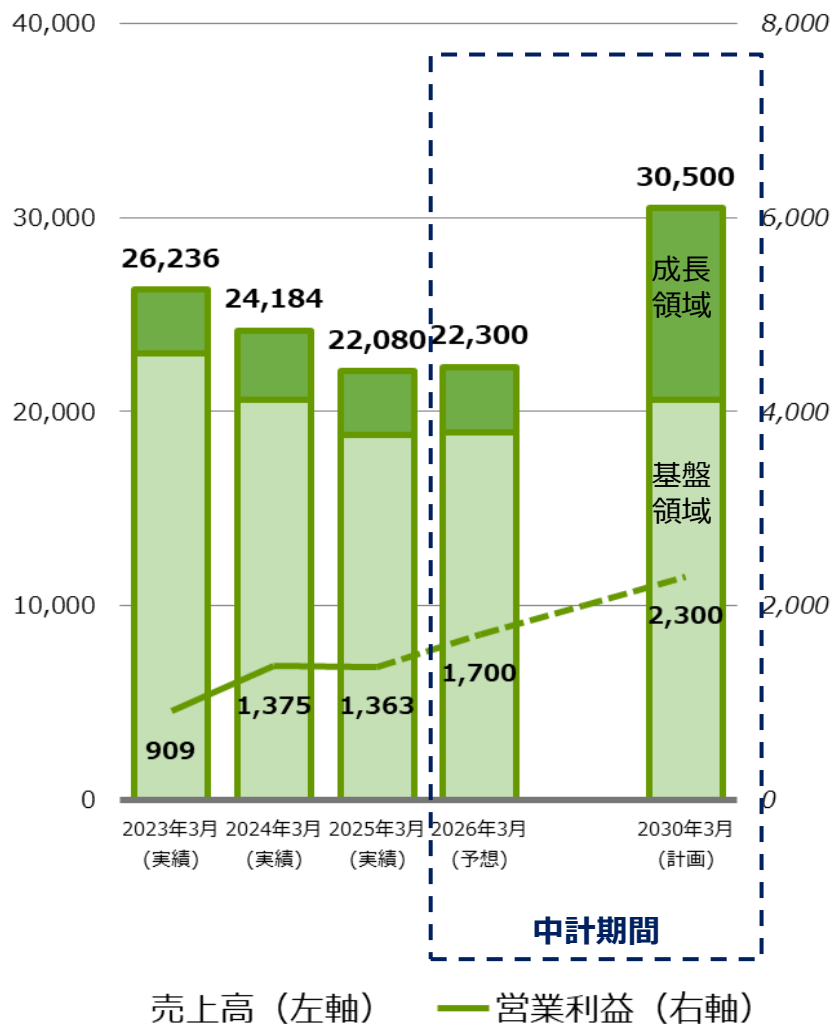
【成長領域】

- 半導体関連容器は、AI普及・データセンター建設加速による需要拡大に対応する供給能力を整備
- 先端半導体の後工程に対応する製品を提供



- 医療機器・医薬品製造向けに成形技術を活用した部品等を拡販

売上・営業利益（百万円）



事業戦略・重点施策

【基盤領域】

- ラッピングフィルムは抗菌・抗ウイルスやカラーラップなどの当社独自製品によりシェアを拡大
- 機能性コンパウンドは独自開発の高撓動性材料を活かし、自動車用やケーブル被覆用でシェアを拡大

【成長領域】

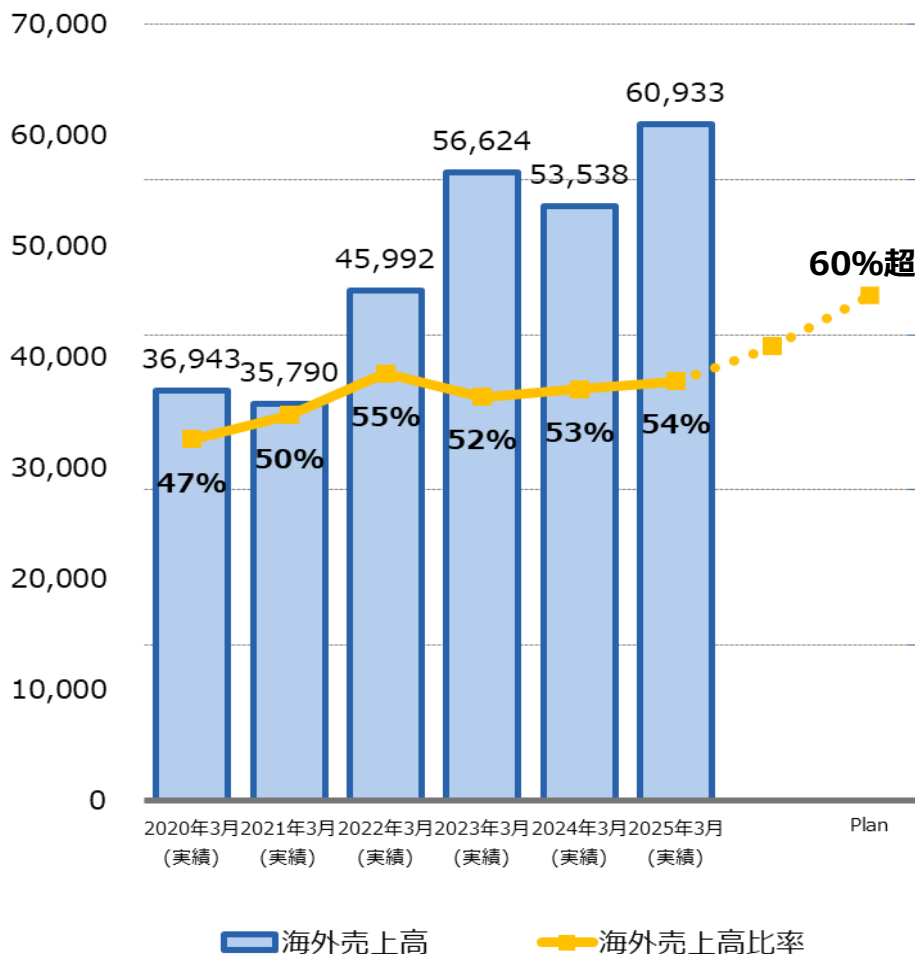
- SiCパワー半導体の発熱対策に対応するフィルムコンデンサ向け耐熱薄膜フィルムなど、高機能な素材系製品の拡充
- 導電性ポリマーの用途拡大を通じた市場の創出



海外売上・海外拠点

海外は重要な成長市場であり、販売及び製造拠点の拡大を継続し、
海外売上比率を60%超を目指す

海外売上・比率（百万円）



海外拠点

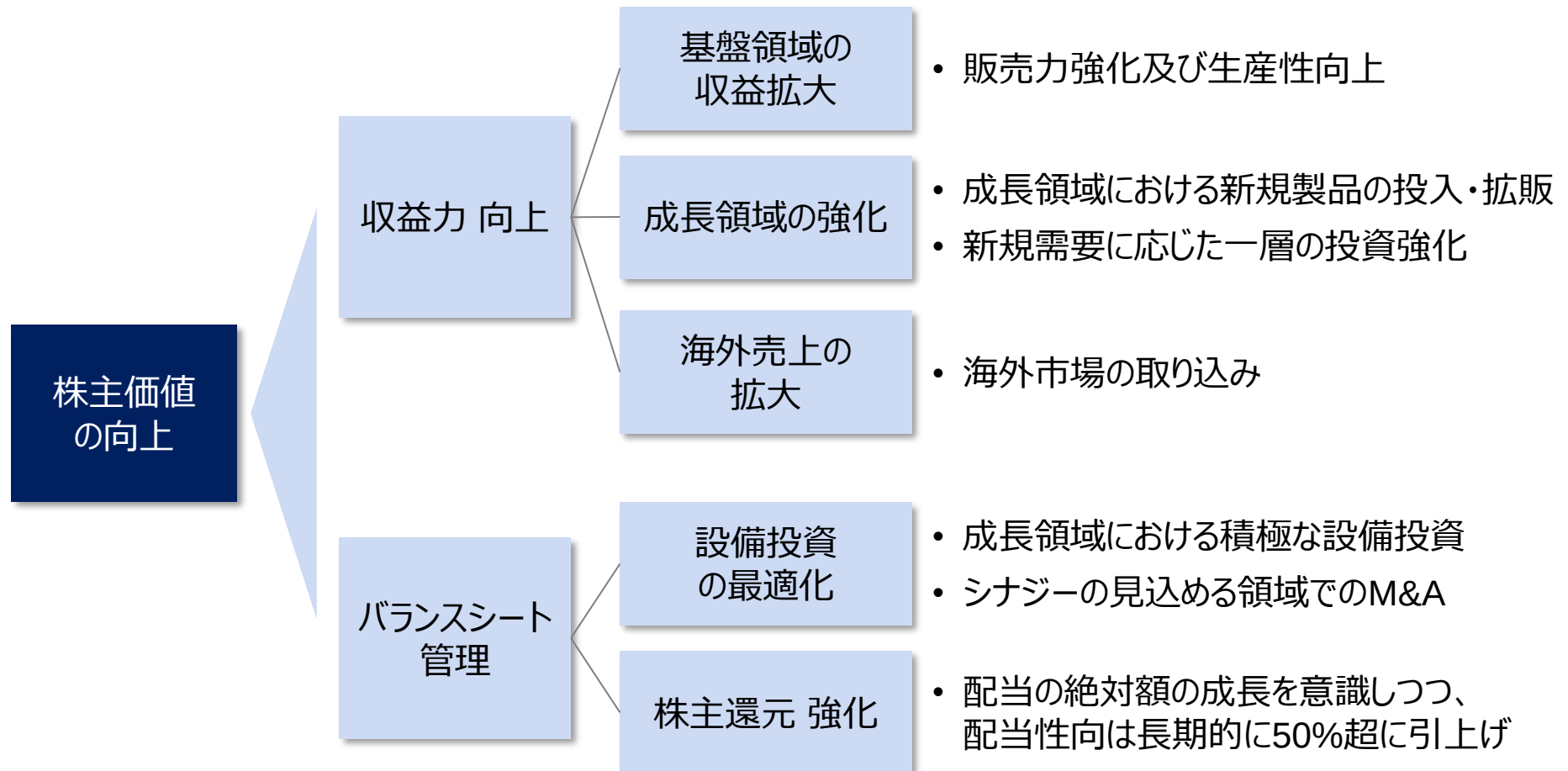


4. 財務・非財務戦略



株主価値の向上に向けた取り組み

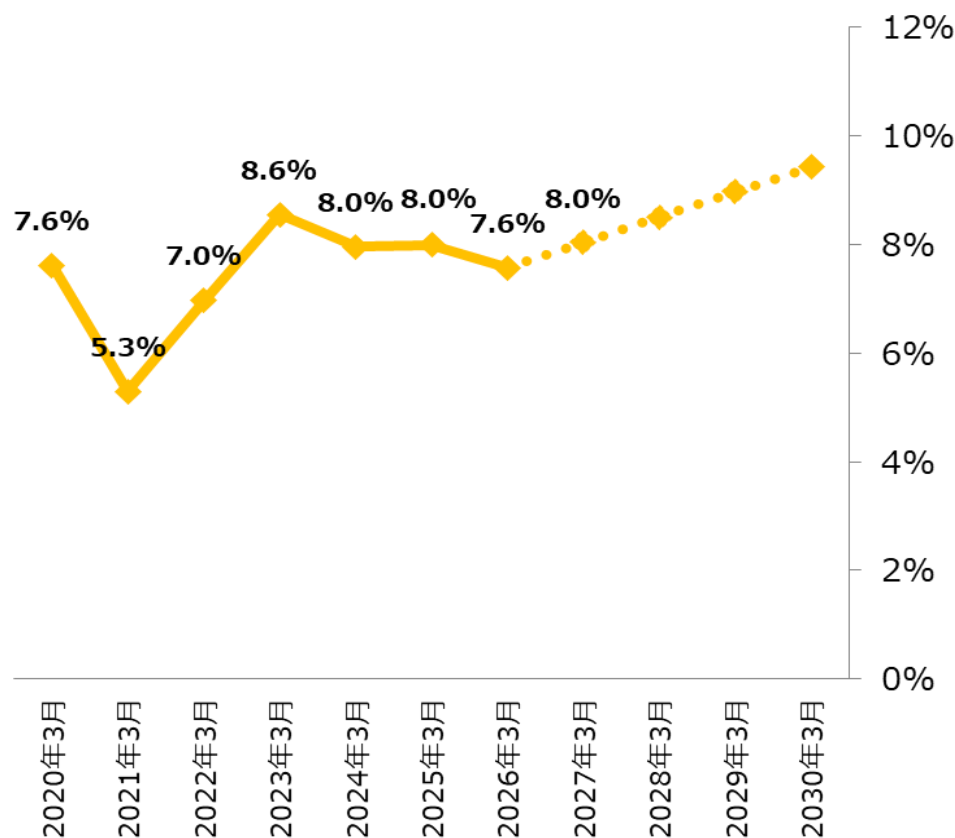
企業価値の向上に向けて、基盤領域の収益向上と成長領域への強化を継続すると同時に、さらなる株主還元の強化に取り組む



ROE・株主還元方針

ROEは早期に10%の水準を目指す。
配当は、全体額の安定成長を意識しつつ、配当性向を50%超に引上げを目指す

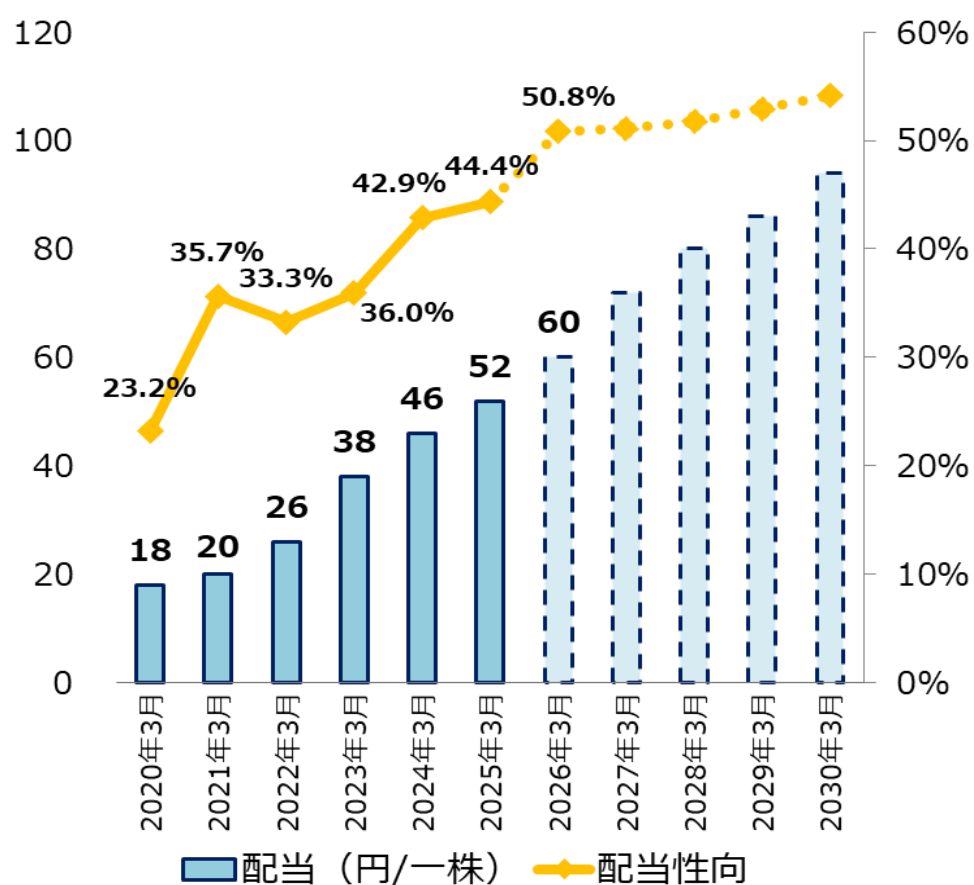
ROE



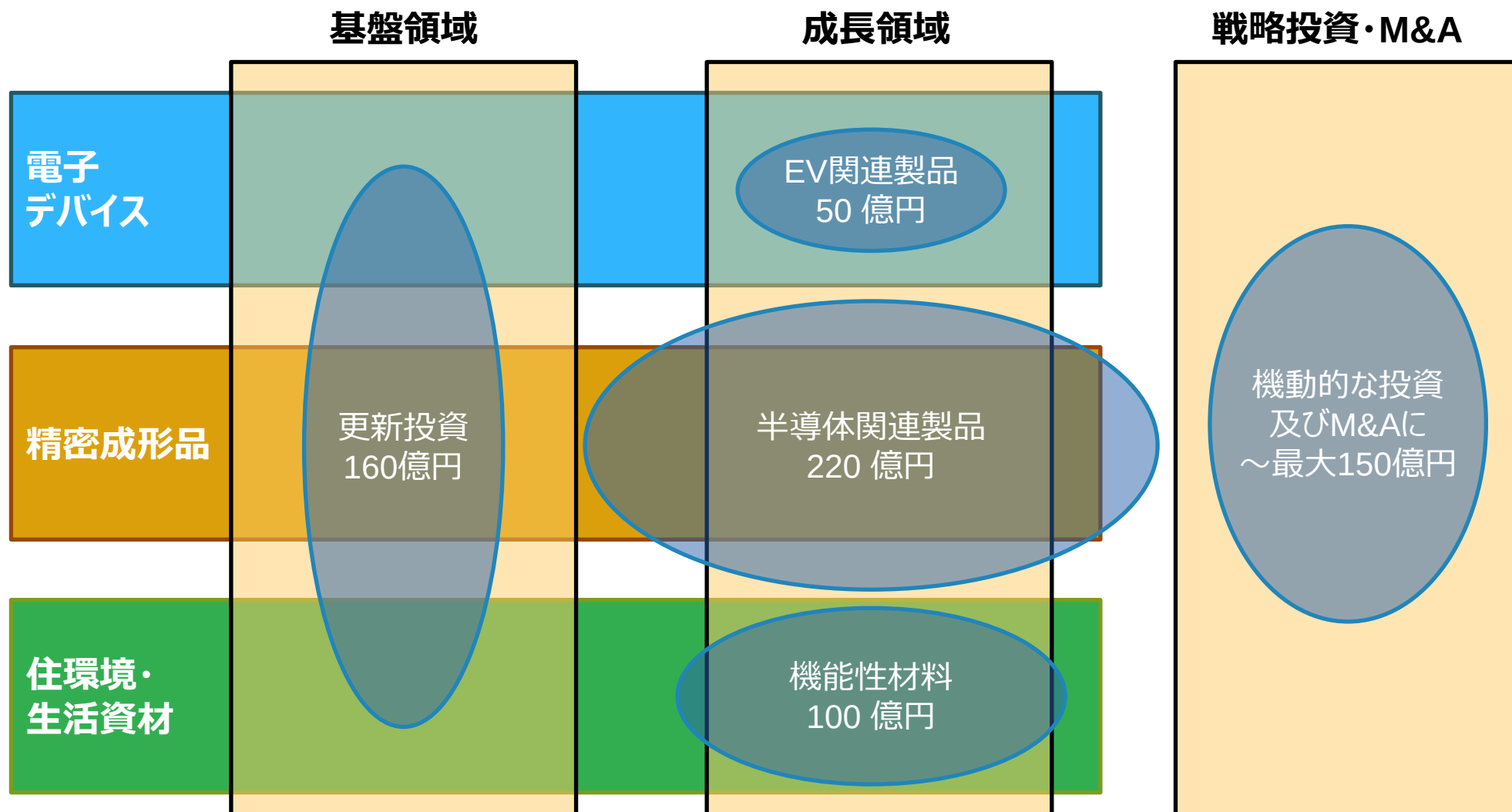
配当性向・一株あたり年間配当額

(配当額: 円)

(配当性向: %)



設備投資・戦略投資の概要（FY2025～FY2029） 計680億円



キャッシュの獲得及び分配のイメージ

中期経営計画の期間中に獲得された営業キャッシュフローを
積極的な成長投資及び株主還元分配到する。

(単位：億円)

キャッシュの獲得

中計期間におけるCF
(FY2025~FY2029)

920

キャッシュの分配

成長投資

株主還元

160 更新投資

370 拡大投資

150 戦略投資・M&A

株主配当

サステナビリティの基本的な考え方

信越ポリマーグループは、企業理念に基づき、安全、公正を最優先とする経営に徹し、社会とともに成長し続ける企業を目指しています。社会からの要請・期待に応えながら、事業を通じて社会課題の解決を目指し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

	重要課題	目標	関連する SDGs目標
E	環境負荷低減 省エネルギー	- CO₂排出量の削減（スコープ1・2、基準年2013年） 2030年：▲ 46%、2050年：▲100% 2030年：再生可能エネルギー導入比率 33%	  
S	人権尊重 人財育成 CSR調達の推進	- 人権デューデリジェンスに基づく対策と改善の推進 - 創造と変革を推し進める人財の育成 - 内部通報制度やサプライヤーホットラインの拡充	   
G	ガバナンスの強化	- サステナビリティ推進、コンプライアンス強化の継続 - 株主・投資家との建設的対話の継続実施	-



本資料に関する注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績予測値は、公表時点で入手可能な情報に基づいており、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。

このため、実際の業績は、さまざまな要素により、記載された予測値と大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与えうる要素としては、経済情勢、需要動向、原材料価格・為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

お問合せ先

信越ポリマー株式会社 経営企画部

TEL : 03-5288-5485 E-mail : ir_pub-info@shinpoly.co.jp